



しらやま

白山小学校だより No.29

令和2年11月16日

☆☆☆☆☆ 全校朝礼 (11月10日) ☆☆☆☆☆



・マラソン大会で賞に入った皆さん、よくがんばりました。走りきった一人一人のがんばりにも目に見えませんが賞状をおくります。これからは最後まであきらめない強い気持ちを持ち続けましょう。(コウノトリふれあい学習へ向けて「くちばしのおれたコウノトリ」の読み聞かせをしました)



「歯みがきについて」
・歯垢(しこう)は、歯の表面につくよごれで、虫歯や歯肉炎の原因になります。
・歯垢をおとすためには、ていねいな歯みがきが大切です。
・みがき残しがないように注意してみがきましょう。
・歯ブラシは1か月に1本を目安に取りかえましょう。
・虫歯は早めに治療しましょう。

11月の生活目標「感謝の気持ちを伝えましょう」
・「ありがとう」の反対の言葉は、「当たり前」です。
・「当たり前」と思うと、「ありがとう」の言葉はできません。
・お世話になったときには「ありがとう」という気持ちを言葉にして伝えましょう。



☆☆☆ 研究授業が行われました ☆☆☆



6日(金)に、4年担任の大西教諭が「クラスたいこう全員リレー」という資料を使って道徳の授業を行いました。リレー大会の前日、走ることが苦手なたけしをチームからはずすという意見が出され、主人公であるそうたは、それが正しくないことはわかっていながらも周りの状況に流され、何も言えなくなってしまおうという話です。まず、どの児童も正しいとわかっていてもなかなか言えなかったり、できなかったりしたことがあることを「心のものさし」を使って可視化させ問題意識を持たせるところから授業がはじまりました。そうたが話し合いで何も言えなかったところでは、みんなが意見を発表してそうたの揺れる心の内を探りました。そうたが思ったことを言えたらどうなるかをグループで話し合う場面でも、いろんな意見を伝え、自分たちの考えを深めていた4年生。正しいとわかっていてもなかなか行動に移せなかったり、よくないこととわかっていても周りに流されてやってしまうことは日常生活の中ではよく起こります。しかし、この授業を通して、「正しいと思うことは勇気を出して伝えていこう」と感じる事ができたと思います。



9日(月)に、3年担任の藤井講師が「あと、ひと言」という資料を使って道徳の授業を行いました。一緒に遊んでいた友達から塀の上を歩こうと誘われた主人公は、困りながらも小さな声で誘いを断ります。ところが家に帰ると母親から二人が大げがをしたと聞かされ、さっきまで一緒に遊んでいたときのことを話します。すると、「えらかったけど、でも、少し足りなかった。」と母親に言われ、母親が言おうとしていることに気づくという話です。「よくないとわかっていても、ついやってしまった」ことを発表させて、資料への興味を持たせるところから授業がはじまりました。その後、友達に誘われた時や誘いを断ったときの主人公の気持ちをみんなが話し合い、迷いや何となくすっきりしない主人公の気持ちにみんなが共感していきます。「あと、ひと言」は何だったかを考える班ごとの役割演技では、自分たちでいろんなセリフを考え、相手にどう伝えたらわかってもらえるのか登場人物になりきりしっかり演じた3年生。振り返りでは、よいことや自分が正しいと思うことは勇気を持って行動しようというねらいに迫る発表を聞くことができました。